

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

令和7年度全国学力・学習状況調査における市川市の結果分析(その2)

前回に引き続き、標記調査の分析結果のポイントをお伝えします。詳細は下記 HP でご確認ください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/common/edu07/file/0000498271.pdf>

3. 「学力との間に一定の関係」がみられる教科に係る児童生徒質問(続き)

(2)中学校(5～7頁)

①学習に対する興味・関心や授業の理解度等

国語、数学、理科ともに、正答数の分布状況は全国平均と大きな差異は無いにも関わらず、「授業の内容はよく分かる」に対する肯定的な回答が全国平均よりも少ないです。

②授業の進め方等

以下の質問に関して、全国平均よりも肯定的な回答が少ないです。小学校と同様に、授業の進め方などを見直す余地がありそうです。

- ・国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか
- ・国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の運び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか
- ・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか
- ・文字式を用いた説明や図形の説明を読んで、かかれていることを理解することができますか
- ・理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか

4. 「学力との間に一定の関係」がみられるその他の児童生徒質問(8, 9頁)

(1)家庭の蔵書数と読書好き

小中学校ともに、家庭の蔵書数は全国平均よりも多いにも関わらず、「読書が好き」との回答割合は全国平均よりも少ないです。

(2)ICT 機器の活用

小中学校ともに、授業での ICT 機器の活用に課題があるように思います。

- ①小学校…ICT 機器を使うことについて、「プレゼンテーションを作成する」は肯定的な回答が全国平均と比べて多かったですが、「文章を作成する」「情報を整理する」「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」は肯定的な回答が少なかったです。
- ②中学校…ICT 機器を使うことについて、「文章を作成する」「プレゼンテーションを作成する」は肯定的な回答が全国平均よりも少なかったです。

(3)授業での取組

- ①小学校…「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」ことについて、肯定的な回答が全国平均と比べて少なかったです。
- ②中学校…授業での取組について、「自分の考えが伝わるよう、工夫して発表する」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる」は肯定的な回答が全国平均よりも少なかったです。

5. 授業研究の徹底と事務的な調査の精選

調査結果から見ると、学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」が授業で徹底されていないように見受けられます。各教師が授業研究にしっかり取り組んでいただくことが重要です。

そのためにも、9月定例市議会でも答弁しましたが、学校に対する事務的な調査の精選を進め、授業研究に取り組める環境整備に努めます。

6. 国立教育政策研究所の公表資料

全国学力・学習状況調査の問題作成を行っている国立教育政策研究所では、以下の資料を公表しています。これらを参考に見てみてください。

(1)調査問題・正答例・解説資料 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

(2)授業アイディア例 <https://www.nier.go.jp/jugyourei/r07/index.html>